

健康スポーツライフ杉並プラン

スポーツ振興課が取り組む主な事業（令和5年度、令和6年度予定）

取組方針1 子ども（18歳未満）のスポーツ・運動・遊びの推進

- ・ 学校施設のさらなる有効活用 2
- ・ 学校運動部活動の支援 5

取組方針2 大人（18歳以上）のスポーツ・運動の推進

- ・ 障害者スポーツネットワークの推進（ユニバーサルタイムの実施） . . . 7
- ・ 応援するスポーツの推進

取組方針3 誰もがスポーツに親しむことができる環境づくり

- ・ ビーチスポーツの推進 12
- ・ 下高井戸おおぞら公園多目的スポーツコート整備 別添

学校施設のさらなる有効活用

○令和4年度からの進捗

- ・学校施設における体育施設の有効活用等に向けた仕組みの構築については、利用時間枠を設定し、施設予約システムを導入したことで、学校開放団体の利用が促進され、より多くの区民が学校施設を利用することに繋がった。
- ・学校施設を活用したスポーツ振興事業では種目を絞り、令和5年度は「継続性」をテーマに事業を実施。種目を絞り、学校施設がスポーツを通じて仲間づくり、地域住民の交流機会を提供できるかを主眼においた。

○目的

学校施設を地域の公共財として一層活用し、地域スポーツ等への利用の幅を広げるため、学校における体育施設の有効活用等の仕組みを構築する。構築に当たっては、学校教育で使用する時間外における学校施設管理権限の一部を教育委員会事務局から区長部局のスポーツ振興を担当する部署へ移管することを視野に取組を進め、区民・団体によるスポーツ活動の推進を図る。

○取組内容・実績

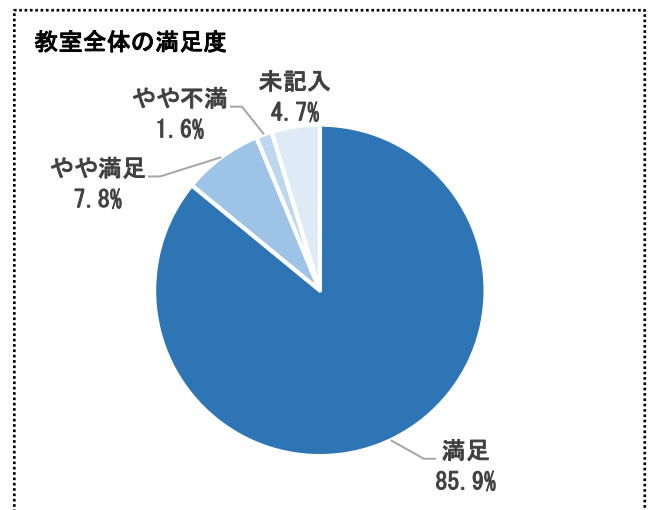
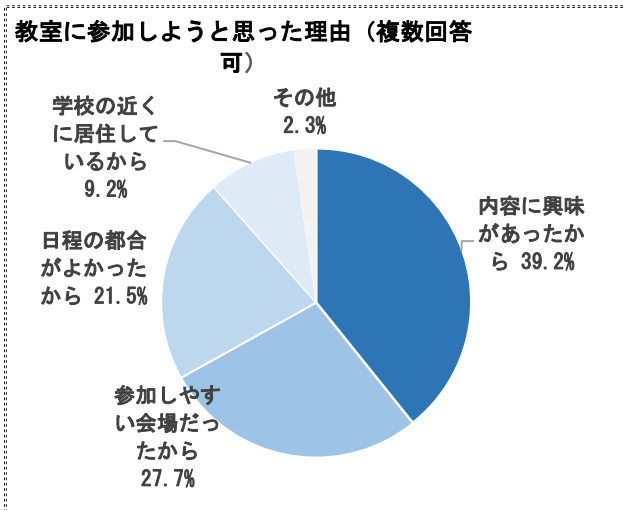
令和4年3月からモデル事業を杉並区立小中一貫教育校高円寺学園で実施（以下の①～②）。

	内容	実績
① 学校施設 の利用調 整	<p>学校開放事業において、利用時間枠を設定することで、施設をより有効に活用するとともに、円滑な利用調整ができるようシステム化を図ることによって、他のスポーツ施設と同様に申込みがしやすく、より多くの区民が学校施設を利用できる環境づくりを進める。</p> <p>（利用調整の対象） 校庭、アリーナ（大・小）、交流ホール、会議室</p> <p>※令和5年6月利用分から大アリーナ、小アリーナの土日祝日は2時間枠を導入。</p>	<p>○利用率（R5.4～R6.1末）</p> <p>【校庭】 使用枠/提示枠：192枠/278枠 利 用 率：69.1%</p> <p>【アリーナ（大・小）】 使用枠/提示枠：846.5枠/1,047枠 利 用 率：80.9%</p> <p>【交流ホール・会議室】 使用枠/提示枠：154枠/1,285枠 利 用 率：12.0%</p> <p>○利用団体数（R4.4末とR6.1末の比較） 登 録 団 体 数：68団体→82団体</p>
② 地域スポ ーツ振興 事業	<p>学校施設の有効活用により新たに生み出された利用枠を活用し、多くの区民がスポーツ・運動を身近に感じられる事業を地域で実施することで、スポーツ・運動を習慣とすることにつなげ、地域におけるスポーツ活動の定着化を図る。</p>	<p>○実施結果 3種目7回、延べ141人参加</p> <p>【親子ボール教室】※()内は参加者数 対象：区内の小学校低学年と保護者 7月30日（日）10：30～11：30（15組） 8月20日（日）10：30～11：30（16組） 9月17日（日）10：30～11：30（12組）</p> <p>【ジョイピラティス】 対象：運動をあまりしない中高年の方 7月30日（日）13：00～14：00（12名）</p>

	8月20日（日）13：00～14：00（9名） 9月17日（日）13：00～14：00（14人） 【バドミントン体験教室 対象：バドミントンに興味のある方 9月3日（日） 10：30～12：00（20人）
--	---

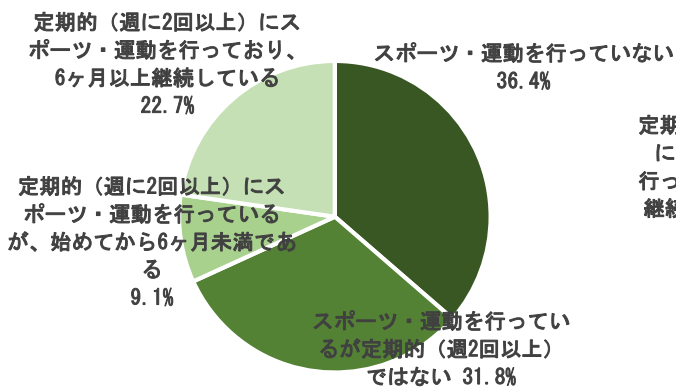
○地域スポーツ振興事業のアンケート結果

実施した3つの種目について、共通のアンケートをとった結果（抜粋）は以下のとおり。

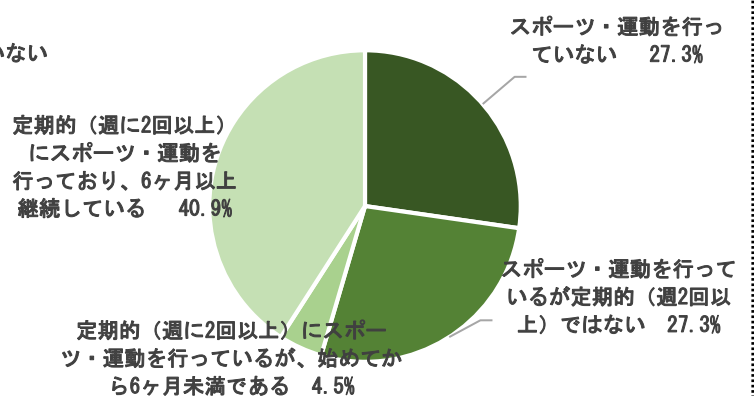


あなたは普段どの程度スポーツや運動を行っていますか。

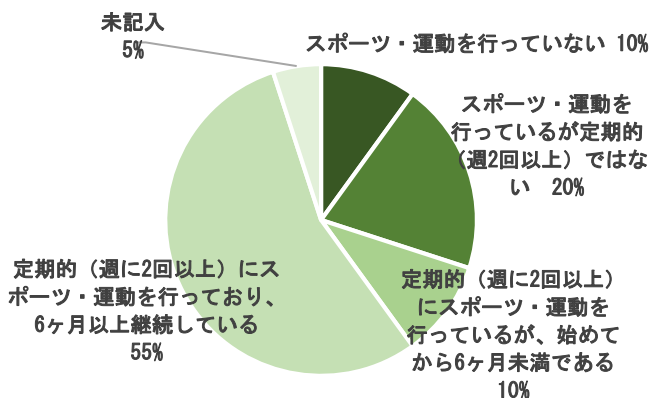
親子ボール教室



ジョイピラティス



バドミントン体験教室



○令和6年度の課題と取組

- ・経費面や区民の利便性、わかりやすさに考慮し、モデル事業で導入した独自システムではなく、公共予約システム「さざんかねっと」の再構築に合わせて、学校への施設予約システム導入を順次進めていく。
- ・事業実施のための利用枠の創出についての課題やモデル事業だったためスポーツ振興事業は参加費の徴収（利用者負担）をしなかったが参加費については引き続き検討する。
- ・学校施設が地域スポーツだけでなく、文化活動の振興等にも資する場でもあり、それらに関する事務は教員が負担することが必須でないものも含まれるため、学校施設全体の事務の効率化につながるよう学校施設のあり方を検討する。
- ・学校施設のさらなる有効活用と部活動について、令和4～5年度に高円寺学園でモデル事業を行った。モデル事業は一旦終了するが、モデル事業で得た知見を活かしながら学校施設におけるスポーツ振興のあり方については引き続き検討する。

学校運動部活動の支援

○令和4年度からの進捗

1 部活動支援の実施

- ・区の会計年度任用職員として、校長の管理下において、部活動の指導、大会・練習試合の引率など部活動の運営・管理等の職務に従事する部活動指導員の配置数を拡充した。
- ・令和4年度に引き続き、モデル事業として、高円寺学園における全運動部の顧問業務、技術指導、大会引率等の業務を地域（民間事業者）に委託した。なお、同事業に対する生徒や保護者へのアンケート結果では、事業者の部活動支援員による指導等に高い評価が示された。

2 今後の部活動の在り方の検討

- ・「杉並区における中学校部活動の在り方に関する懇談会」において、杉並区体育協会、区立小・中学校のPTAの協議会が推薦する方等から部活動の在り方に関する意見徴取を行うとともに、区の教育部門、スポーツ振興部門等を構成員として、新たに設置した「杉並区における中学校部活動の在り方検討委員会（以下、「検討委員会」という）」において、部活動の地域連携、地域クラブ活動への移行等に向けた検討を進めた。

【検討委員会の検討概要】

○部活動の課題

現行の部活動は、少子化の進展により生徒数の減少が進み、一部の集団競技では、単独校では試合に出場することが困難な状況にあることや活動を担う教員に大きな負担があることから、持続可能性の面で課題がある。

○対応の方向性（案）

①拠点校方式による合同部活動の実施

生徒が、一定規模の活動の中で、多様な考え方をもつ生徒間等での交流を図り、生徒自身の主体性や社会性を育むことができるように、部員数の減少により、学校単位での部活動の運営が困難な状況が生じている一部の運動部活動において、複数校の生徒が1つの拠点に集い活動を実施する拠点校方式による合同部活動を実施すること。

②教員主体ではなく地域が主体となり指導等を担う新たな部活動の実施

生徒が、スポーツに親しみ、生涯を自分らしく生きるための基礎を培うことができる持続可能な活動の場を確保するため、一部の運動部活動において、地域クラブ活動への移行を視野に入れた取組として、地域・民間事業者が主体となり、技術指導、大会引率等を行う部活動が実施すること。

また、部活動の地域クラブ活動への移行に向けた過渡期においては、喫緊の課題である教員の働き方改革の観点から、地域クラブ活動への移行を視野に入れた取組に並行して、部活動指導員等の配置拡充を図り、地域連携の取組を推進すること。

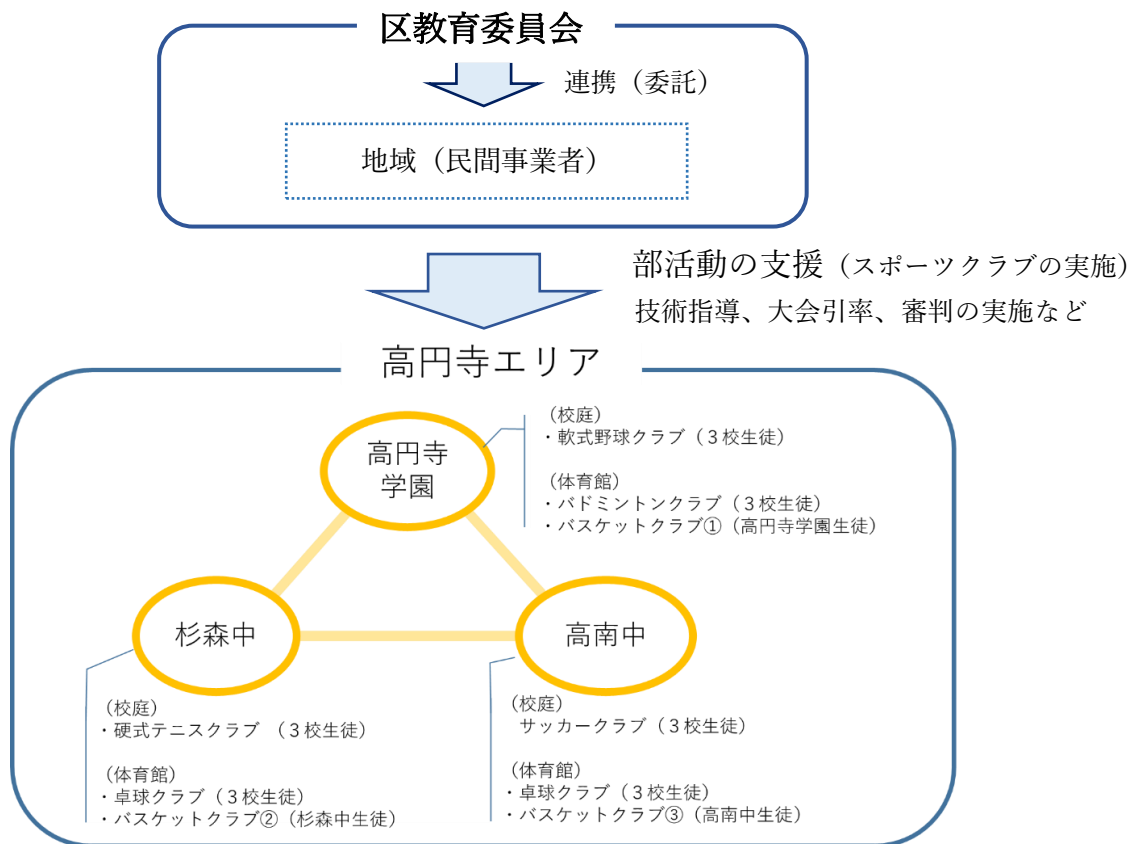
○令和6年度の取組

①「学校部活動の地域クラブ活動への移行」を視野に入れた取組

- ・高円寺学園で実施したモデル事業を継承し、「学校部活動の地域クラブ活動への移行」を視野に入れた取組として、引き続き運動部活動の技術指導等を委託する。

なお、令和7、8年度は、複数校の生徒が1つの拠点に集い活動を実施する拠点校方式による合同部活動として、高円寺学園（中学部）、杉森中、高南中の3校で実施する。

【令和7、8年度の実施イメージ】



②部活動指導員の配置拡充等地域連携の取組

- ・地域クラブ活動への移行を視野に入れた取組に並行して、部活動指導員の配置数を拡充することとする。

杉並区総合計画等における部活動指導員の配置数（計画数）

（参考）令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
2人拡充 累計8人	4人拡充 (累計12人)	4人拡充 (累計16人)	4人拡充 (累計20人)

障害者スポーツネットワークの推進（ユニバーサルタイムの実施）

○令和4年度からの進捗

- ・令和4年度に開催した荻窪エリアでの障害者スポーツネットワーク（以下、「ネットワーク」と呼ぶ。10 ページ参照。）に加えて、上井草エリアのネットワークを開催した。また、新たにネットワーク間の情報や課題の共有等を目的とした連絡会を開催した。
- ・ネットワークでいただいた意見をふまえ、荻窪体育館に加えて、上井草スポーツセンターでユニバーサルタイムを試行として4回開催する予定（本日までに3回開催。次回3月24日開催予定）。
- ・ユニバーサルタイムの開催場所や開催回数の拡大に対応するため、すぎなみスポーツアカデミーの講座の1つとして、「ユニバーサルタイムサポーター養成講座」を開催した。
- ・令和12年度までのユニバーサルタイムの実施場所と実施回数の計画化。

○障害者スポーツネットワークの開催状況

荻窪体育館

区分	第1回	第2回
日時	5月24日（水） 10:00～12:00	2月28日（火） 10:00～12:00
開場	荻窪体育館会議室	荻窪体育館会議室
出席	9名（ほか、行政関係者18名）	8名（ほか、行政関係者18名）
内容	これまでの経緯とネットワークの目的等の共有、ユニバーサルタイム・荻窪の企画・検討、施設の改善に向けた意見交換など	ユニバーサルタイム・荻窪の振り返りと令和6年度に向けた検討、上井草スポーツセンターにおける取組の共有など

上井草スポーツセンター

区分	第1回	第2回	第3回
日時	4月20日（木） 10:00～12:00	6月15日（木） 10:00～12:00	1月18日（木） 10:00～12:00
開場	上井草スポーツセンター会議室	上井草スポーツセンター会議室	上井草スポーツセンター会議室
出席	12名（ほか、行政関係者25名）	10名（ほか、行政関係者20名）	9名（ほか、行政関係者15名）
内容	これまでの経緯とネットワークの目的等の共有、ユニバーサルタイム・上井草の企画・検討、熱中症対策についての検討など		ユニバーサルタイム・上井草の振り返りと令和6年度に向けた検討、荻窪体育館における取組の共有など

※初実施となるため、荻窪体育館の会議より多く実施。

連絡会

日時	7月10日（月） 10:00～12:00
----	----------------------

開場	杉並区役所第5・6会議室
出席	14名（ほか、行政関係者24名）
内容	ユニバーサルタイムや、誰もが使いやすい体育施設づくりに向けての荻窪と上井草間での意見交換、サポーター養成講座についての検討など

○ユニバーサルタイムの実施概要

- ・軽い運動や理学療法士への身体の相談、ウォーキングやランニング、様々なボール遊びなどのプログラムを準備し、参加者が自由に選択して適宜実施できる。事前申し込み不要、入退場自由で、見学のみの参加も可。会場内に、理学療法士、看護師、一緒に体を動かすサポーターを配置（パラスポーツ指導員有資格者、スポーツ推進委員など）。
- ・荻窪体育館は、「普段できない体験ができる」、「気兼ねなく体を動かすことができる」、「サポーターが充実している」などの意見があった。リピーターが定着し、それぞれの方法で楽しむ姿が増え、滞在時間が長くなっている。
- ・上井草スポーツセンターは、「新しい競技を体験できて、嬉しくて楽しくて気持ちよかった」、「屋外のためボールを遠くまで打つことができ満足できた」との意見があった。熱中症対策ユニバーサルタイムルールを独自に設け、安全に配慮して実施した。

荻窪体育館

（会場：体育室・小体育室）

回	開催日時	参加者数（内訳：当事者・介助者）
1	4月5日（水）15：00～17：30	40人（内訳：24人・16人）
2	5月28日（日）10：00～12：00	50人（内訳：28人・22人）
3	6月7日（水）15：00～17：30	27人（内訳：16人・11人）
4	7月5日（水）15：00～17：30	39人（内訳：23人・16人）
5	8月13日（日）15：00～17：00	31人（内訳：18人・13人）
6	9月6日（水）16：00～18：00	25人（内訳：15人・10人）
7	10月4日（水）16：00～18：00	33人（内訳：19人・14人）
8	11月23日（木・祝）10：00～12：00	28人（内訳：17人・11人）
9	1月20日（土）10：00～12：00	19人（内訳：12人・7人）

【誘導サポーター】



【ボール遊び】



上井草スポーツセンター

(会場：運動場)

回	開催日時	参加者数 (内訳：当事者・介助者)
1	7月12日(水) 16:00~18:00	11人 (内訳：6人・5人)
2	9月30日(土) 10:00~12:00	14人 (内訳：8人、6人)
3	10月25日(水) 15:00~17:00	19人 (内訳：11人、8人)
4	3月24日(日) 14:00~16:00	人 (内訳：人、人)

【軽い運動】



【ボール遊び】



【スポーツ車いす】



【熱中症予防テント】



○ユニバーサルタイムサポーター養成講座の実施概要

日時	内容・講師
9月17日(日) 9:30~17:00	障害者スポーツネットワークとユニバーサルタイム【スポーツ振興課】 Disability Equality Training (障害平等研修) 【ファシリテーター：高田 朋枝氏、ほか】 簡単な手話を覚えて会話しよう【講師：塩田 知弘氏】
9月18日(月・祝) 9:30~17:00	障害の種類とコミュニケーションの配慮のポイント 【講師：(公社)東京都障害者スポーツ協会】 ユニバーサルタイム体験 【講師：東京都理学療法士協会、中村 陽子氏／協力：障害当事者】
別日程 (任意)	ユニバーサルタイム (実践) 普通救命講習 (すぎなみ地域大学を案内)

- ・受講者 10 人のうち、9 人が活動を希望し、これまでに 6 人が体験を終え、そのうち 5 人はすでにサポーターとして活動した。

○令和 6 年度の課題と取組

- ・ユニバーサルタイムの実施回数については、今後、年 1 回、2 年に 1 館ずつ実施場所を増やしていく。

ユニバーサルタイム実施回数

	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	R 11	R 12
荻窪体育館	10	12	12	12	12	12	12	12
上井草スポーツセンター	4	8	12	12	12	12	12	12
3カ所目			4	8	12	12	12	12
4カ所目					4	8	12	12
5カ所目							4	8

- ・上井草スポーツセンターは令和 5 年度に屋外（グラウンド）で実施したが、猛暑などの影響を考慮して屋内と屋外で実施。
- ・リピーターが多い中、新規の利用者の獲得が課題。

○参考

障害者スポーツネットワーク

(目的)

より多くの障害者が身近な区体育施設で気軽にスポーツ・運動に親しめるよう、ユニバーサルタイム（別添のチラシ参照）に関することや、施設の使いやすさに関することを、障害当事者や関係機関等が相互に意見交換する場とするとともに、協議・検討した内容をより良い取組につなげることを目的に、令和 4 年 6 月に障害者スポーツネットワークを設置した。

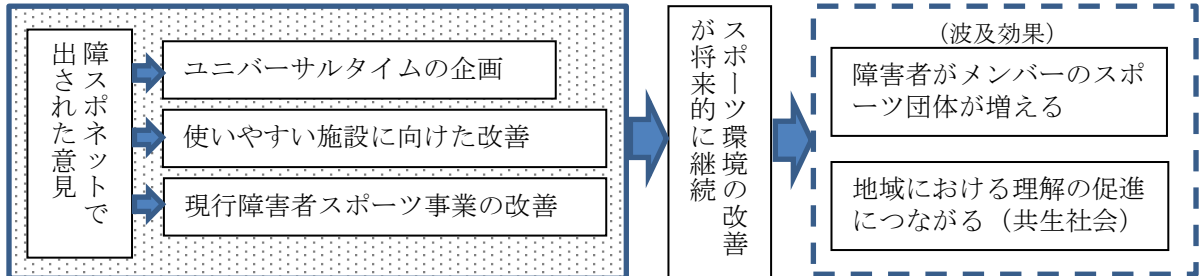
(構成メンバー)

- ・障害者団体等：障害当事者団体、移動支援事業者、障害者施設、特別支援学校
- ・障害者スポーツ関係：スポーツ実践者、障害者スポーツ指導者協議会、理学療法士協会スポーツ局
- ・スポーツ・地域関係：スポーツ推進委員、体育協会、スポーツ・レクリエーション協会、

すぎなみ協働プラザ、社会福祉協議会ボランティアセンター

- ・行政関係：スポーツ振興課（事業係、施設管理係）、障害者施策課、スポーツ振興財団、
体育施設指定管理者

【参考：障害者スポーツネットワークのイメージ図】



ビーチスポーツの推進

○ビーチスポーツネットワーク会議の継続

永福体育館にビーチコートが併設されたことに伴い、区内関係団体等の参画により平成30年度に「永福体育館オープニングイベント」、令和元年度に「永福体育館オープン1周年記念イベント」を企画・実施した。

この区内関係団体等のつながりを一過性に終わらせず、今後のビーチコートのより良い運営を目指すため、令和2年度、名称を「杉並区ビーチスポーツネットワーク会議」とし、年1回のイベントの企画のほか、ビーチコートの利用状況や、ビーチコートにおける他のイベント等の開催状況の共有などをしていくこととなった。

現在は、同会議の活動に加え、心身障害者スポーツ教室（わいわいスポーツ教室）「ビーチで遊ぼう」の講師として協力をいただいている。

令和5年度は以下の事業を企画・実施するため、3回の会議を開催。

構成団体：杉並区体育協会、杉並区スポーツ・レクリエーション協会、杉並区バレーボール協会、杉並区サッカー連盟、杉並区テニス連盟、杉並区ソフトバレーボール連盟、杉並区スポーツ推進委員、東京都ビーチバレーボール連盟
オブザーバー：指定管理者（杉並スポーツ・カルチャー共同事業体）

○スポーツフェスティバル in エイフクビーチスポーツプログラム

（雨天中止のため以下は予定）

開催日時	10月9日（月・祝）9:00～18:00
プログラム	ビーチバレー、子どもタイム「ビーチであそぼう」、ビーチテニス、ビーチサッカー

※同日9:30～16:30、小体育室でスポーツ推進委員による「ボッチャ・視覚障害者サッカー体験」を開催

○永福体育館5周年記念オリパライベントへの協力

ビーチスポーツネットワーク会議の各構成団体から1名ずつスタッフとして協力

開催日時	8月5日（土）12:00～17:00
テーマ	大人も子どもも熱くなれ！オリ・パラスポーツ観戦イベント
プログラム	パラバドミントン、ビーチバレー、オリパラに関する用具の展示
参加者数	77人



○重度心身障害者スポーツ教室「わいわいスポーツ教室」への協力

ビーチスポーツネットワーク会議の構成団体の中から4名が講師として協力

開催日時	①9月2日(土) 10:00~11:15 ②11月4日(土) 10:00~11:15
プログラム	ビーチで遊ぼう(ビーチでソフトバレーボールとテニスを楽しむ)
参加者数	①8人 ②9人

